

谷町四丁目駅(地下鉄谷町線・中央線)

われ、幻の大極殿を見たり! 難波宮跡をめぐる



「大阪あそび歩マップ集」
その2 No.073

地下鉄谷町四丁目駅

①大阪歴史博物館

水都大阪らしい船の形を思わせる曲線と大阪城の石垣をイメージした外観が印象的です。この博物館では、古代から近代の大阪の歴史を展示しています。10階は難波宮のサイトミュージアム(遺構博物館)になっており、ここを見学してから難波宮跡史跡公園に出かけると、よりいっそう古代の難波を感じる事ができるでしょう。

②地下遺構

博物館が建つ敷地には、今から1350年前の前期難波宮(難波長柄豊碕宮)の宮殿がありました。発掘調査ではたくさんの倉庫跡やそれらを区画する堀跡、宮廷に水を供給した水利施設などが見つかっています。そのほとんどは再び埋め戻して保存していますが、一部は掘り出したままの状態で見ることができます(遺構見学ガイド〔1日6回〕)。

③法円坂倉庫群

難波宮がつけられる200年ほど前(5世紀後半)に建っていた巨大な高床式の倉庫群です。16棟



の大型掘立柱の建物が東西方向に2列、整然と並んで建設されていました。当時の倉庫としては日本最大級の大きさです。法円坂遺跡といわれています。

④難波宮跡史跡公園

法円坂一帯の発掘調査に取りかかったのは、当時大阪市立大学教授であった山根徳太郎博士です。難波宮の存在を確信した博士は、昭和29年(1954)に調査を開始。存在を疑問視する学者が大半のなか、大学退官後も私費を投じて調査を続け、ついに昭和36年(1961)、大極殿跡を発見します。このとき「われ、幻の大極殿を見たり!」と博士は叫んだそうです。公園には、復元された前期難波宮(飛鳥時代)の大極殿基壇がみえます。また、建物や回廊の位置に遺構表示があり、赤いタイルを使って低くなっているところが前期の建物、一段高くなっているところが後期の建物です。ところで、公園

の北側を通る阪神高速は、公園付近だけ高架ではなく平面を走っています。これは、中央大通りの下に残る遺構を破壊しないためだそうです。



⑤資料展示室

難波宮周辺の発掘で出土した土器や瓦などを展示しています。このほか、森の宮遺跡や森小路遺跡の土器や、大坂城築城以降の近世の出土品もあります。博物館で展示されている資料と同じく貴重な展示品を間近に見ることができて、考古学ファンにはたまりません。難波宮跡資料展示室へは要事前連絡。平日の10:00~17:00 (06-6943-6836)

地下鉄谷町四丁目駅

